

平成27年度 第三者によるサービス評価調書(専門分野)

対象施設名 寿楽苑

評価日:平成 27年12月14日

評価委員

佐藤部会長 川島委員 若林委員

IV-1 生活環境(安全管理)

利用者が日常生活を送る空間が安全で安心できる環境であるかどうかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-1-(1)安全に配慮した設備	事故防止のために、常に段差、照明などの環境の安全性に配慮している。	A			安全管理に関するチェックリストについては、現場の職員にも周知願いたい。	衛生管理委員会が設置されており、委員が職場巡視チェックリストを作成、それに基づきチェック、毎月1回委員会会議で確認している。結果を現場職員へ周知します。
IV-1-(2)敷地内の点検と補修及び安全確保	敷地内の危険箇所の日常点検や破損箇所の適時補修を行っている。	A			進入車両に対する注意喚起については、玄関だけでなく、入口にも立て看板等により注意喚起をしてもらいたい。	正門地面に「徐行」の文字は記載されている。運転者から目に付くような立て看板を設置します。
IV-1-(3)安全に配慮した外出等	外出する場合等において、安全に配慮した運転業務及び利用者の介助を行うようにしている。	A			法令講習会にも参加し、安全に十分配慮されている。	講習会に参加し、引き続き安全運転を周知します。
IV-1-(4)感染症対策	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA等)	A			外部からの感染症対策として玄関に消毒液を複数設置し、デイサービスやショートステイ利用者、職員等の感染症予防の徹底に努めていただきたい。	正面玄関には設置されているが複数設置されていない、また、職員通用口には設置されていない。数の増加、通用口へ設置します。
		4	0	0		

IV-2 自立への支援(個別ケア)

利用者個々の状況を適切に把握し、自立支援の観点で個別ケアが実践されているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-2-(1)アセスメントの実施	利用者個々の状況(心身の状況、主治医(かかりつけ医)、常用薬、持病、嗜好、家族環境、生活歴、要望など)を把握している。		B		短期目標と長期目標の期間が長すぎるので、短期目標は6ヶ月、長期目標は1年くらいに見直しをしていただきたい。	モニタリング期間を1ヶ月にしているため、こまめに評価見直しを行うことが可能であるが、目標期間をもう少し短期間にして様子を見るようにします。
IV-2-(2)課題の明確化	アセスメントの結果に基づき、課題を明らかにした上で、利用者個々の施設サービス計画を作成している。	A			ケアの標準化が図れるよう個別支援計画が綴ってあるファイルに処遇内容を示す書類もファイリングしてあると良い。	具体的なケアの内容についてもプリントアウトをし、個別ファイルで個別支援計画と一緒につづります。
IV-2-(3)職員による課題の把握	アセスメントにより明らかにした課題について、職員が把握している。	A			アセスメントに関する情報は細かく取られていることから、課題は明確になっている。プラス面による自立という点からICFのアセスメントも取り入れていただきたい。	ICFを使った課題整理や視点を、今後も研修等で深めていきます。
IV-2-(4)心身の状況に応じた機能訓練	施設サービス計画に基づき、個別に機能訓練のプログラムを作成し実施している。		B		個別機能訓練加算を取得しているため、リハビリを実施した記録をしっかりと取っていただきたい。	個別機能訓練の項目についても、日々の記録の中で実施状況を確認できるよう、記録方法を変更していきます。
		2	2	0		

IV-3生活意欲の向上(利用者の自主性、施設生活の充実を図る工夫など)

利用者の自主性・個性を尊重し、施設において生活が充実されるような工夫がされているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-3-(1)外出機会の確保	施設外で開催される行事等について、利用者・家族に情報提供している。	A			行事について家族にも情報提供されている。	引き続き家族への情報提供を行います。
IV-3-(2)職員の態度	利用者が満足することの出来る接遇を実践している。		B		車椅子の押し方、食事の介助方法が気になったので、見直していただきたい。業務中心ではなく、利用者本位のケアに関して再確認していただきたい。	接遇等の見直しについて、苑内研修で常に再確認できるようにしていきたい。また、常に利用者の視点に立って支援ができるよう、意識づけていきます。
IV-3-(3)レクリエーション	クラブ活動等多彩な活動の場が用意され、利用者の意向に沿った余暇活動を支援している。	A			本人の生きがい、生活歴の中で培った潜在能力を考慮した支援が十分にされている。	
IV-3-(4)行事・イベント	クラブ活動等多彩な活動の場が用意され、利用者の意向に沿った余暇活動を支援している。	A			行事やイベントに関しては意欲的に取り組んでいる。	活動を通じて五感を刺激し、心理面の活性化や気持ちの安定化も図ります。
IV-3-(5)外出・外泊希望への対応	外出・外泊などの希望に沿うようにしている。	A			家族を巻き込んで取り組んでいる。	更なる向上に努めます。
IV-3-(6)金銭管理(財産管理)	個人財産は、成年後見制度や日常生活自立支援事業を考慮しつつ、自己管理を促している。	A			成年後見制度については、ポスター等の掲示により周知を行っていただきたい。	ポスター等掲示し情報提供を図ります。
IV-3-(7)居室への持込	防災上の支援や他人への迷惑のない限り、好みの装飾品等を居室に持ち込める。	A			昨年度に比して本人の馴染みの物が持ち込まれており、居室のしつらえに努めている。さらに本人の居場所づくりを進めていただきたい。	更に本人の居場所づくりを進めていきます。
IV-3-(8)服装や整容の支援	利用者の好みに合った服装や整容の支援を行っている。		B		洋服の訪問販売の回数を増やす等、買う機会が増えると良い。服装やコミュニケーションから明るい雰囲気づくりに努めていただきたい。	出張販売以外に、外出先で買い物をする機会が増えていく。ご利用者の好みを大切に支援を心がけます。
		6	2	0		

IV-4健康の維持管理

利用者が現状の健康状態を維持できるような取り組みが実践されているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-4-(1)定期健康診断の支援	年に2回以上、健康診断や医師の指導を受けられるように支援している。	A			医師が毎週みえており、定期検診もしっかりとされている。家族にも報告がされている。	
IV-4-(2)身体状態の変化や異常の早期発見・対応	利用者個々の身体状況の変化や異常のサインを早期に発見できるよう、全職員が注意しており、重度化や入院を防ぐ努力をしている。また、その変化やサインを記録している。	A			早期発見に努めており、適切に対応されている。	
IV-4-(3)服薬管理	利用者に対する服薬管理を適切に行っている。	A			薬の誤薬があった様だが、今後、間違えることのないよう取り扱っていただきたい。薬の管理は適切にされている。	声だし確認のチェック機能を徹底し再発防止に努めます。
IV-4-(4)口腔ケア	歯科医師・歯科衛生士や看護師の指導の下、口腔ケアを行っている。	A			三食後に口腔ケアを実施しており、誤嚥性肺炎等の予防のため、特に夕食後の口腔ケアを念入りにされている。	感染症(インフルエンザなど)の予防にも繋がっている。引き続き継続に努めます。
IV-4-(5)健康に関する相談	健康に関する利用者からの相談に応じる体制を整備している。	A			異常の早期発見に努めている。利用者の思いを汲み取るようにされている。	
IV-4-(6)医療機関との連携	内科、外科、精神科、歯科等協力医療機関との連携がとれ、必要ときに適切な措置を講じることが出来る。	A			内科、精神科、歯科と連携を取りながら対応されている。家族の要望により、往診や通院もされている。	
IV-4-(7)特別なケアへの対応	特別なケア(医療ケア、終末期など)が必要な利用者への対応は、医療機関との連携の下で行っている。	A			終末期を迎える方がみえたが、マニュアルに従い対応が出来ている。家族からも感謝されている。	
		7	0	0		

IV-5食事

利用者にとって食事が楽しいひとときとなるような取り組みが実践されているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-5-(1)利用者に応じた食事	利用者の好みや身体状況に応じた食事が提供されている。(好みの食事が選択できる。治療食の実施、主食の選択など)	A			バイキングでは重度の利用者に対して手元にくつか料理をもっていくなど、利用者が公平に選べるよう配慮がされている。材料については代替食も準備している。	
IV-5-(2)メニューの工夫	利用者の希望調査や残滓調査を行い、メニューに反映している。	A			栄養士が直接利用者に意見を聞き取る等して、献立に反映させている。	利用者の意見を適時聞き、更に満足していただける食事提供に努めます。
IV-5-(3)食事の雰囲気作り	食器や盛りつけの工夫、季節感の演出、音楽を流すなど、食事をおいしく、楽しく食べるための雰囲気作りをしている。		B		食事中にテーブルに歯ブラシが置かれている等、食事をゆったりと食べられる雰囲気に不注意な面がある。また、車いすからいすでの食事について考慮していただきたい。	歯ブラシの準備については、早急に改善を図ります。また、車イスから椅子に座り替えての食事摂取については、座位保持のために車いすが必要な場合を除き、PTと連携を図り、本人の意志を確認しながら検討を図ります。
IV-5-(4)適温提供	温かいもの、冷たいものを適温で提供している。		B		電子レンジが利用者から届かない位置にあり、誰もが取り扱える場所にある訳ではない。	ご自身で電子レンジを使える利用者がほとんどみえないため、職員に操作を頼みやすいよう設置場所等の検討をします。
IV-5-(5)食事介助	利用者の状況・ペースに合わせた食事介助をしている。	A			介助を要する方の配置や介助者の位置も含めて再度考慮していただきたい。噛んでいる時にスプーンで促さないなど、基本に関して考慮していただきたい。	業務の見直しを含め、食事の提供の仕方など検討します。介助者ペースではなく、利用者ペースで行うことを再構築します。
		3	2	0		

IV-6入浴

利用者にとって入浴が快適な時間となるような取り組みが実践されているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-6-(1)希望に応じた入浴	利用者の希望に応じた入浴あるいはシャワー浴ができる。		B		利用者の希望に応じるよう改善が図られている。利用者を待たせたりしない配慮に努めている。	入浴実施日や時間帯を増やしたことで、希望や臨機応変な対応に繋がるよう努めます。
IV-6-(2)身体状況に応じた入浴	身体状況に応じた入浴方法(形態)をとっている。	A			職員が利用者の身体状況を把握して入浴介助がされている。	引き続き身体状況を把握し入浴介助を提供していきます。
IV-6-(3)快適な入浴時間	入浴が快適となるような工夫がある。	A			浴槽が汚れた場合はお湯を入れ替える対応がされている。利用者に不快な思いをさせないよう待ち時間がないように配慮している。	更に満足していただけるよう配慮に努めていきます。
		2	1	0		

IV-7排泄

利用者の排泄自立を促す取り組みがなされているかを評価		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
IV-7-(1)排泄状況の把握	利用者個々の排泄状況の記録をとり、健康管理に役立てている。	A			排泄状況が記録されており、異常があってもすぐ対応できるようになっている。	引き続き継続以上の早期発見に努めます。
IV-7-(2)排泄介助	排泄に関して利用者の希望調査や意識調査を行い、反映している。	A			自分でズボンを上げてもらう等、利用者の状況に応じた自立支援の対応がされている。	
IV-7-(3)適切な道具の活用	オムツ、カバー、便器等、利用者の状態に適したものを使用している。	A			業者から情報収集等を行い、利用者の状態に応じた見直しがされている。	排泄用具、利用者個々の状態に応じた物の提供に努めます。
IV-7-(4)排泄の衛生管理	便器等の清潔保持、排泄後の後始末など、衛生面に配慮した支援を行っている。	A			ナースコールによって適切に対応されている。排泄物を長く放置するというような不衛生なことはされていない。	
		4	0	0		

V-1利用者との交流

利用者と家族との交流が円滑にできるよう配慮しているかを評価

		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
V-1-(1)家族の訪問支援	家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地良く過ごせるような雰囲気を作っている。(来やすい雰囲気、歓迎、関係再構築の支援、湯茶の自由利用など)	A			家族の訪問も多くあり、できるだけコミュニケーションをとるようにしている。	家族とのコミュニケーションも十分図り、信頼関係の構築に努めます。
V-1-(2)家族の参加支援	家族が施設での活動に参加できるように、場面や機会を作っている。(食事作り、散歩、外出、行事など)	A			行事の企画に家族が参画できる機会を設けているが殆ど参画がないので、年次総会時には改めて家族の意見を聞くようにされている。	引き続き参加を呼びかけていきます。
V-1-(3)家族への情報提供	利用者の様子を、ホーム便りや連絡等により、随時知らせしている。	A			広報誌を作成し、家族に情報提供している。	広報誌の発行、ホームページの更新を随時行い更によりタイムリーな情報提供を目指します
		3	0	0		

V-2利用開始時(入居時)の対応

入退居にあたって、分かりやすい説明や適切な対応が行われているかを評価

		A	B	C	評価者のコメント	施設の対応等
V-2-(1)利用開始時の説明	重要事項説明書等の文書はわかりやすく表現されており、説明したうえで内容について同意を得ている。		B		説明時の記録はあるが、やりとりや流れ等の記録がされていないので、記録をしていただきたい。	これまでも入所に至るまでの経緯や事前説明等について記録しているため、関係文書等と併せた管理方法への変更を検討します。
V-2-(2)利用契約の説明	契約の効力や解約方法などについて、誤解の無いように説明が行われている。	A			利用時の契約は重要事項説明書と同様なされている。	
V-2-(3)入所(入居)の自己決定	入居の決定は、余裕をもって利用者が自己決定できる。	A			利用開始前には事前の見学や説明、体験入所、短期入所などが行われており、適切に対応されている。	ご本人様、ご家族様に十分納得していただいた上での入所をお勧めしております。
V-2-(4)退所(退居)時の利用者に関する情報提供	退居にあたり、利用者の状態について、利用者や家族にわかりやすく説明するとともに、退居先に利用者に関する情報提供が適切に行われ、また、退居がスムーズに行われる体制等が整備されている。		B		退去時のマニュアルが整備されていない。やり取りの記録はあるが、統一したものがないので整備していただきたい。	早々に退所時マニュアルを整備します。
		2	2	0		

	A評価	B評価	C評価
第三者評価結果	33	9	0